

今年の蒲郡はベテランに若手が挑戦する

NTTジャパンカップ第4戦蒲郡大会直前情報

海外からも女子2名、男子11名の選手が参加

6月23日(土)、愛知県蒲郡市蒲郡競艇場内のオレンジホールで、翌日に開催される2007NTTトライアスロンジャパンカップ第4戦・ITUトライアスロンコンチネンタルカップ蒲郡大会の有力選手記者会見が行われた。

出席したのは、女子が高木美里(湘南ベルマーレ)、大松沙央里(トヨタ車体)、男子は山本良介(トヨタ車体)と細田雄一(ウイダー)の4名。司会は、白戸太朗JTU事業広報委員。

まず、各選手の紹介があったのちに、各選手から、本大会への意気込みが語られた。その後、会見は記者からの質問へと移った。



オレンジホールでの記者会見。左端は司会の白戸太朗JTU事業広報委員

高木 美里
(湘南ベルマーレ)



先々週のワールドカップ、その前のアジア選手権と、体調を崩し、復活したところなので、目標が優勝とは言えない。しかし、確実に上位に入って多くのポイントを稼ぎたい。デモインのレースは、賞金額が大きいこともあって、どの選手も積極的に仕掛けていた。

大松 沙央里
(トヨタ車体)



ここが第2の故郷になって4年目。蒲郡では、去年の3位が最高、前月の天草大会でも僅差で2位となっているので、そろそろ結果を出したい。トヨタ車体の地元のレースなので応援が多いと思う。その声援に応じて優勝し、来週の七ヶ浜につなげたい。

山本 良介
(トヨタ車体)



優勝が目標。昨年この大会で優勝した福井英郎コーチからトヨタ車体で2連覇を、と言われている。このコースは、スイムが淡水でウエットスーツなしなので、永力の差が出やすい。バイクはテクニカルコースで、風の読み方が分かれ目になる。ランでいい勝負がしたい。

2007年度社団法人日本トライアスロン連合(JTU) オフィシャルスポンサー&オフィシャルパートナー



今年の蒲郡はベテランが若手に挑戦する

NTTジャパンカップ第4戦蒲郡大会直前情報

愛知県が地元であるトヨタ車体の大松、山本良介の2選手に、コースの印象などの質問が向けられ、さらに先週、アメリカ・アイオワ州のデモインで開催されたITUワールドカップに出場した高木、山本良介の2選手に、1位20万ドル、全賞金金額70万ドルと過去最高額の賞金が競われた大会のことについて質問された。

この蒲郡大会は、2000年にASTCアジア選手権開催、2005年にITU世界選手権開催が開催され、また1997年には庭田清美が日本ではじめてITUワールドカップの2位に入るなど、数々の名勝負が生まれた地。

今年も、エリート男女53名がエントリーし、海外からも女子2名、男子11名が参加している。

男子では、山本良介、地元岡崎出身の山本淳一(K's-Y・グリーンタワー・稲毛インター)の2名のベテランを軸にレースが展開すると考えられる。女子は、高木選手のほかは、ほぼ若手選手といえる選手構成。男女とも、ベテランに若手がどう挑むかがレースと見所となってくる。

24日(日)は、女子が12時ちょうど、男子が午後1時55分のスタートとなっている。また、午前8時10分には一般の選手のオレシトリアスロンがスタートする。

細田 雄一

(ウイダー)



明日は、トップをねらって精一杯頑張る。この1年、故障で走れなかった時期が長かったので、その時期にくらべて走れる喜びを感じている。練習では調子があがっているの、その結果を証明するためにも、明日のレースでは頑張っている順位を取りたい。



左から、大松沙央里、高木美里、山本良介、細田雄一の各選手。レース前日のためか、緊張感を感じられない

2007年度社団法人日本トライアスロン連合(JTU) オフィシャルスポンサー&オフィシャルパートナー

